

平成27年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 52
ID 140301

【施設状況】

グループ名称	勤労青少年ホーム（中部、北部、南部）、中高年齢労働者福祉センター（サンライフ長野）						
指定管理者名	協同組合長野シーアイ開発センター				法人番号	9100005001363	
所管課	主	140300	産業政策課	副			
構成施設	1885	中部勤労青少年ホーム					
	1887	北部勤労青少年ホーム					
	1888	南部勤労青少年ホーム					
	1886	中高年齢労働者福祉センター（サンライフ長野）					
施設分類	01	企画型	施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03 一部利用料金制
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北部勤労青少年ホーム … 講習室、和室、調理実習室、談話室、体育館 ・ 中部勤労青少年ホーム … 講習室、和室、調理実習室、談話室、体育館 ・ 南部勤労青少年ホーム … 講習室、和室、調理実習室、談話室、体育館 ・ 中高年齢労働者福祉センター … 会議室、和室、談話室、体育館、トレーニングルーム 						
施設設置目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勤労青少年ホーム … 勤労青少年の福祉の増進及び健全な育成を図る。 ・ 中高年齢労働者福祉センター … 中高年齢労働者の雇用の促進及び福祉の向上を図る。 						
基本方針等	指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供するとともに、利用者が交流のできる、地域に根ざした施設となることを目指す。						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勤労青少年ホーム … 各種講座の開催、施設の貸出、クラブ等勤労青少年の自主的な活動の支援 ・ 中高年齢労働者福祉センター … 各種講座の開催・施設の貸出 						

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	協定、計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協定、計画の一部が予定どおり実施されない ・ 管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協定、計画が全て実施されない ・ 管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・ 市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	協同組合長野シーアイ開発センター			指定回数	2 回	
指定期間	平成26年4月1日	～	平成29年3月31日	3年	管理運営開始日	平成21年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)				3	

2 施設の有効活用

		利用区分等	単位	H24	H25	H26	H27	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		北部勤労青少年ホーム	人	26,987	27,472	27,900	28,515	102%	4
		中部勤労青少年ホーム	人	19,894	22,856	23,562	23,796	101%	
		南部勤労青少年ホーム	人	20,233	21,213	21,286	22,974	108%	
		中高年齢労働者福祉センター	人	63,803	64,077	70,853	73,231	103%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
		(特記事項) 全ての施設で利用者が増えている。							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設の利用許可に関する業務 利用料金の収受に関する業務 施設、設備、備品の維持管理に関する業務 キャリア形成、再就職、就労支援のための講座を企画実施 			なし				
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設の設置目的に沿った事業内容とし、地域住民や利用者のニーズが反映された講座を開催する。 			なし				
サービス維持・向上の取組み(広報等)		<ul style="list-style-type: none"> 講座予約専用のホームページでインターネット予約(携帯電話も可能)することにより、利便性向上を図っている。 新聞の折込みチラシ、地区の回覧を活用して施設の活動をPRしている。 常に講座内容を見直して利用者の選択肢を広げたり、託児付き講座の開催により、子育て世代が受講し易い環境を整える等によって、受講者を増やす取組みを行っている。 							

3 利用者評価

		区分	内容		評価	
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート			4
		(2) 調査、会議等の内容 利用者アンケートを実施 ・実施期間 平成28年1月19日から平成28年2月14日まで ・回答者数 400人(4館合計) (1施設100人分×4施設)				
利用者からの評価・苦情等	利用者からの評価・苦情等	(3) 調査、会議等の結果 主な調査項目 ・接客態度 良好 88.00% (H26 82.75%)、普通 11.00%、悪い 0.00%、無回答 1.00% ・施設管理の満足度 良好 71.25% (H26 69.50%)、普通 22.75%、悪い 5.00%、無回答 1.00% ・講座内容の満足度 良好 79.25% (H26 75.50%)、普通 7.75%、悪い 0.25%、無回答 12.75%				
		(1) 良好とする評価 ・親切で丁寧な対応。 ・施設の清掃がきちんとされている。 ・講師が良い。 ・講座の内容が分かりやすく、楽しい。面白い。 ・興味を持つ講座が多い。 ・挨拶をきちんとしてくれる。 など (2) 苦情・改善等の要望事項 ・施設が古い。 ・冷暖房の効が悪い。 ・駐車場が少ない、狭い。 ・トイレが古い(和式)。 など 《対応措置》 ・勤労青少年ホームの不調の空調は、順次交換して行く。 ・駐車場については、周辺に駐車可能な土地がないため、対応は難しい。				

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成27年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成27年度決算		平成26年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	27,165,000	利用料金	27,088,152	歳入	使用料 雑（納付金） 行政財産目的外使用料 その他	372,941	使用料 雑（納付金） 行政財産目的外使用料 その他	372,941
	指定管理料	62,518,000	指定管理料	62,518,000					
	委託料	0	委託料	0					
	販売収入等	0	販売収入等	0					
	その他収入	100,000	その他収入	108,000					
	計	89,783,000	計	89,714,152		計	372,941	計	372,941
支出	人件費	46,961,800	人件費	46,706,213	歳出	指定管理料 委託料 需用費 役務費 使用料・賃借料 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他	62,518,000	指定管理料 委託料 需用費 役務費 使用料・賃借料 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他	63,031,000
	設備管理費	7,688,000	設備管理費	7,597,266					
	備品購入費	100,000	備品購入費	87,784					
	修繕費	1,050,000	修繕費	1,164,608					
	光熱水費	5,200,000	光熱水費	4,888,740			1,205,856		1,203,280
	事業費	19,890,000	事業費	19,660,350					
	事務経費	1,868,000	事務経費	1,885,622					
	本社経費	4,017,000	本社経費	4,017,600					
	その他	3,682,000	その他	3,633,571			76,960		76,960
	計	90,456,800	計	89,641,754		計	63,800,816	計	64,311,240
自主事業	収入	2,914,000	収入	2,127,060					
	支出	2,240,000	支出	2,084,616					
	自主事業損益	674,000	自主事業損益	42,444					
損益		200		114,842	差引		-63,427,875		-63,938,299
人件費比率【人件費(賃金等)／平成27年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									52.1%
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由				予算書では、1000円未満を切り捨てして作成をしたため					

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数)		
	・勤労青少年ホーム3館 館長3人(3人)、常勤職員9人(9人) ・中高年齢労働者福祉センター 館長1人(1人)、常勤職員7人(7人)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

6 危機管理体制 ※すべて☑で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、
評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
危機管理体制	安全対策	☑	3
	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか		
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	☑	
	防犯、防災対策	☑	
1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか			
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	☑		
1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか			
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	評価
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。また、市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。	3
協定内容・指定管理者提案	
追加された内容、未実施の内容及びその理由	
<ul style="list-style-type: none"> 市内からの積極的な雇用。 市内事業者からの積極的な物品の購入。 地域行事への参加、及び館主催行事の際は、地区内へチラシや回覧を活用して参加を呼びかけしている。 	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	4	16	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	3	6	
合計得点			

評価理由

- 施設利用者は4館で148,516人であり、平成26年度実績の143,576人と比較すると103.4%、4,940人の利用者の増である。また、現在の指定管理者が業務を開始した平成21年度の実績101,106人と比較すると、146.9%、47,410人の利用者の増加である。
- 講座の企画では、講座終了時に行うアンケート等から、利用者の意見・要望を把握して、利用者ニーズに合わせた講座を開催していることが、利用者増加につながっている。
- 長野市が行った利用者アンケートでは、接客態度を「良い」又は「普通」の回答割合が99.0%(H26 98.5%)、施設管理の満足度を「満足」又は「普通」の回答割合が94.0%(H26 93.25%)、講座内容の満足度を「良い」又は「普通」とした利用者が87%(H26 86%)と、いずれの項目も高い結果となっている。
- 利用者及び近隣住民からの苦情や要望への対応、体調不良や負傷が発生した時の対応は適切で優れている。

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等 (改善されていない場合)
	勤労青少年ホームにおいて、講座開設に見合う受講料を確保する。	講座内容のさらなる見直しと工夫、周辺事業所へのチラシ配布等により、受講者数の増加を目指す。	クラブ活動の活発化、施設の知名度向上を図る取組みを行う。

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)

- 施設を有効に活用して、さらなる利用者の増加に期待する。
- 施設の修繕を早期に行い、利用者に不便をかけないようにする。

指定管理者自己評価

C

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・ 指定講座のタイトル、内容の見直しを図り、対象にあうよう努力した。
- ・ 自主講座を企画し、より多くの方に利用いただけるよう努力した。（勤労青少年ホーム3館 29講座、306回／サンライフ長野 3講座、38回）
- ・ 折り込みチラシ、広告などにより、定期的に独自の広報活動を実施した。
- ・ ウェブストレッチリングの資格をトレーナーが取得し、トレーニングルームの講座の充実を図った。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・ 水道光熱費の月次管理を施設ごとに推進した。
- ・ クールビズ、ウォームビズ運動に取り組み、冷暖房温度の適正化を図った。
- ・ 体育館に扇風機を準備し貸出を行い、熱中症予防を図った。
- ・ 冷房装置を利用しない時には、動力系の電源を落とし、節電を図った。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・ 経年劣化による備品、設備の不具合を、長野市にて計画的に更新していただきたい。
- ・ 照明のLED化について、どのように勤めるべきか長野市とも協議する必要がある。
- ・ 地域における認知度が向上してきたものの、自主講座の収益改善を図る必要がある。

(3) 次年度以降の取組み

- ・ 自主講座の収益改善を図り、より多くの方が参加できるようにしたい。
- ・ クラブメンバーの募集支援のみならず、新規クラブの立ち上げができるよう主催講座を企画したい。
- ・ 地域における認知度、利用率の向上を図りたい。

【指定管理者自己評価基準】

A：計画や目標を上回る、B：計画や目標をやや上回る、C：計画や目標どおり、D：計画や目標をやや下回る、E：計画や目標を下回る